

「プラスモイスト HS-W」使用方法 (内視鏡下鼻副鼻腔手術 術後パッキング時)

本品は中央で半分に折り畳まれています。中央の折り目と平行に4等分となるようハサミでカットします。

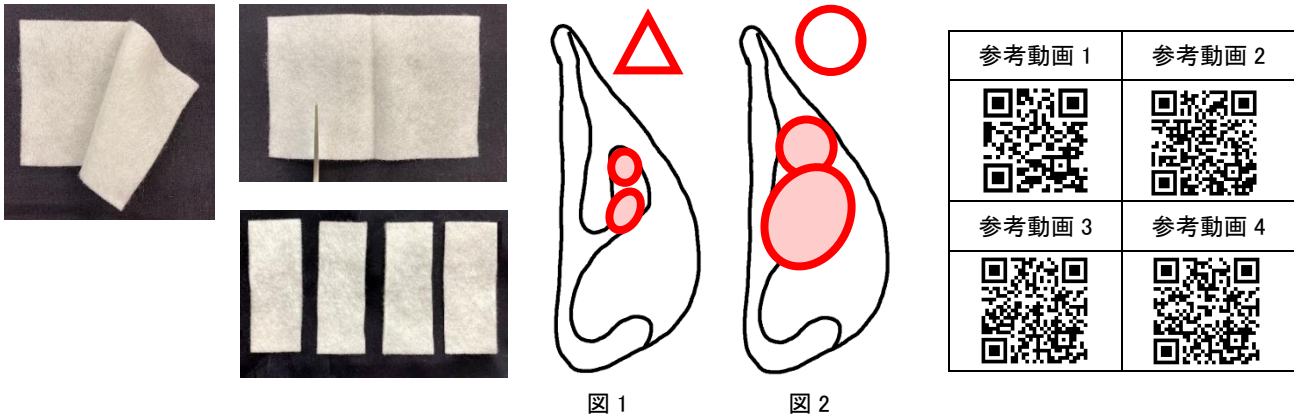


図 1

図 2

【中鼻道挿入時の注意点】

- カットした本品を中鼻道に2本ずつ挿入して下さい。中鼻道内に完全に潜り込ませる形(図1)で挿入すると、鼻洗浄の過程で上顎洞内に脱落することがあります。本品の前端はある程度出して、axilla や鉤状突起 切除断端、中鼻甲介前端といった創部にも当たるように挿入して下さい(図2)(参考動画1: 症例1 慢性副鼻腔炎術後 挿入方法)。上顎洞内に脱落した場合は、曲がりの吸引嘴管を用いて吸引除去するか、鼻洗浄を多少強めにする、または、回数を多くするだけで自然排出されることが多いです。
- 圧迫止血目的に詰めすぎてしまうとゲル化が不十分になり、感染リスク、肉芽増生リスクが高くなる可能性があります。

【挿入後】

綿球を外鼻孔に挿入しておくことと鼻内の湿潤状態を保ちやすくなります。翌日より、適切に鼻洗浄(3~4回/日)を行います。術後4日目程度で鼻洗浄によりゲル化した本品を1-2回、総鼻道に飛び出している部分のみ吸引除去(参考動画2: 症例1 術後2日目にサージカルスポンジ抜去後 術後4日で総鼻道クリーニング)することで自然排出が促され、本品抜去時の中鼻道操作を減らすことができます(参考動画3: 症例1 術後10日で残りの本品を吸引除去)。

【抜去について】

術後7-10日を目安に抜去して下さい。吸引嘴管のみで抜去可能で、鑷子の出し入れ操作は不要です。吸引嘴管を本品に当てて、ゆっくり手前に引くと本品が一気に吸引されてゆき(参考動画4: 症例2 好酸球性副鼻腔炎術後10日で本品を吸引除去)、おおよそ2-4回の吸引操作で全て除去可能です。吸引嘴管のサイズは、大を推奨しています。(中だと容易に吸えない場合があります。)

お問合せ先:

株式会社瑞光メディカル

電話: 072-653-8877 FAX: 072-653-8876 e-mail: plus_moist@zuiko.co.jp